

令和6年7月20日

教育総合センター

事業推進担当課

ハローキャリアワーク通信



(株)松陰会館ご協力のハローキャリアワークの3回目が7月20日（土曜日）に行われました。今回は最終回、いよいよ社員としての提案になります。また、会場の教育総合センターには、ご都合の付く保護者にも参観していただきました。

初めに
教委事務局より今



日の流れ（途中で、教育総合センターの「えがおの森」についての案内があることを含め）教育総合センターでの諸注意があり、その後、松陰会館の佐藤社長にバトンを渡し始めました。佐藤社長からは、これまで



の流れの振り返りと、今日参加した子どもたちの社員としての提案への期待が話されました。開始早々、子どもたちから「絵描きしりとり」の要望があり、アイスブレイクを兼ねて行うことになりました。このことに歓声上がり、夢中になる姿が見られました。そして、子どもたちの気分が変わり、「〇〇にとって、まちが△△になったら」の考えから、「楽しい未来を考える」という視点で話し合いになり、さらに最後の「今から松陰会館は何をした

らいい」という点で2つのグループはまとめを始めました。

手書きで話の内容をまとめる子や、タブレットに保存してあるこれまでの記録を見つめ直し、再度入力している子など様々です。松陰会館のスタッフの方も子どもたちと一緒にまとめに



加わってくださり、アドバイスをしていた



ました。その中で「涼しくしたい」と抽象的な部分について「より具体的に」と言葉をかけ、「ミスト」をつける。「緑のカーテンを行う」「防災のための電柱をなくし、地下に埋める」などいろいろな考えが出てきました。開始1時間が経過したところに教育総合センターの「えがおの森」の説明を受けるため、休憩もかねて30分ほど時間を取りました。そして後半に入り、発表に向けての資料作りになりました。どちらも、プレゼンを行うようで、ロイロノート、パワーポイントなどを使ってまとめていました。

それぞれがまとめたものをアプリで1つのタブレットに集め、まとめて編集していました。発表の順をじゃんけんで決め、1班から開始です。



「今はどんなまち」から始まり「公園がいっぱい」「電柱がないまち」「歩きたくなるまち」「どんな世代でも好きになるまち」と考えを展開していきました。そして、松陰会館の社員として「歩行者天国にする」「涼しく、緑を増やす」「災害から私たちを守る」など考えをまとめました。2班も「涼しく、緑を増やす」として、「お金を集め、苗木を買う」「芝生



にする」として、空き地には、家を建て、冬は暖房、夏は涼しくすると訴えていました。また、「快適に過ごせ、子どもたちも楽しめるまち」をめざしていきたいと発表しました。最後に佐藤社長から「素晴らしい内容で感動しました。」そして、この体験から「まちの未来は自分たちでつくろう」「仲間って大事」という言葉をいただき、皆さんの提案から松陰会館として、会社の前と公園にこの夏に「ミストシャワー」を実現したい、とのお言葉をいただいて終了しました。以下当日の写真です。

